

新型コロナウイルス感染症対応マニュアル

令和3年3月16日
一般社団法人滋賀県トラック協会

〔本人の場合〕

1. 感染を疑わせる風邪様症状が出た場合

【以下のいずれかに該当する場合は、すぐにかかりつけ医など身近な医療機関へ相談してください】

- ① 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ② 重症化しやすい方^{（※）}で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

^{（※）} 妊娠している人、高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD 等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

【上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合も、相談してください】

- ① 症状が4日以上続く場合は必ず相談。
- ② 症状が強くなったと感じる場合や、解熱剤などを飲み続けなければ症状が改善しない場合は、すぐに相談。（4日以上待たずに）

【相談窓口について】

- ① まずはかかりつけ医など身近な医療機関に電話で相談してください。かかりつけ医をもたない場合、土日祝日や夜間など相談先に迷った場合は、保健所の「受診・相談センター」に電話で相談をしてください。（24 時間対応ですが、できるだけ受診調整できる日中に相談しましょう。）
- ② 事前連絡なしに、直接医療機関を受診することは絶対に避けてください。

《受診・相談センター》

大津市にお住まいの方
（毎日 24 時間受付）

☎ 077-526-5411
fax 077-525-6161
✉ hoken@city.otsu.lg.jp

大津市以外にお住まいの方
（毎日 24 時間受付）

☎ 077-528-3621
fax 077-528-4865
✉ coronasoudan@shigaken.net

《症状のない方用の一般電話相談窓口》

大津市にお住まいの方
（平日 9:00～17:00 受付）

☎ 077-522-7228
fax 077-525-6161
✉ hoken@city.otsu.lg.jp

大津市以外にお住まいの方
（毎日 8:30～17:15 受付）

☎ 077-528-3637
fax 077-528-4865
✉ corona-soudan@pref.shiga.lg.jp

<自宅で症状が出た場合>

- ① 専務もしくは常務に連絡した上で、出勤せず自宅で経過をみてください。
- ② 医療機関を受診する場合には、必ず事前に上記【相談窓口について】により電話で相談し指示を受けてください。

<事務所で症状が出た場合>

- ① 専務もしくは常務に報告し、直ちに帰宅して自宅で経過をみてください。
- ② 医療機関を受診する場合には、必ず事前に上記【相談窓口について】により電話で相談し指示を受けてください。
- ③ 念のため、症状があった職員等が接触した箇所をアルコール等で拭き取ります。

2. 症状が改善するか、受診の結果出勤が可能と判断された場合

- ① 医療機関を受診した結果、出勤が可能であると判断された場合には、専務もしくは常務に連絡してください。
- ② 発熱や咳などの風邪様症状が見られた場合、解熱後 24 時間以上が経過し、咳などの呼吸器症状が改善されるまでは出勤を認めません。症状等によって、一定の自宅待機期間を設ける場合もあります。
- ③ 出勤再開後、1 週間程度は体調管理と感染防止策の徹底に留意してください。(感染の可能性を考慮して行動してください。) 発熱や咳などの風邪様症状、倦怠感、息苦しさ等がみられたら、直ちに専務もしくは常務に報告した上で帰宅し、自宅療養してください。

3. PCR 検査等の検査を行った場合

- ① 受診した医療機関の医師が必要と判断した場合、検査が実施されます。
- ② 検体採取は、受診した医療機関もしくは、「PCR 検査センター」等で行います。指示に従ってください。
- ③ 検査結果が出るまでの間は他者との接触を控え、マスク着用・手指消毒を徹底してください。家庭内での飲食も別にするようにしてください。

4. 感染が確定した場合

【本人の対応】

- ① 感染が確定したら、保健所の指示（法的入院等）に従うとともに、大至急、専務もしくは常務に連絡をしてください。
現時点では、指定医療機関等の医療機関で治癒するまで入院となります。ただし、軽症の場合は指定宿泊施設もしくは自宅での療養が指示され、保健所が健康観察を実施する場合があります。
- ② 感染が確定に至らないが、疑似症状と診断された場合は、保健所の指示に従ってください。この場合も大至急、専務もしくは常務に連絡をしてください。

【他の職員等への対応】

- ① 職員等の感染が確定した場合は、保健所の職場調査が行われ、発症者と濃厚接触した者を決定します。
- ② 専務もしくは常務は行動範囲を把握した上で、基本的に保健所の指示に従います。

5. 感染により休業した場合の取り扱いについて

- ① 新型コロナウイルスは指定感染症であり、就業制限解除の基準（退院基準と同じ）を満たすまでは就業できません。
- ② 年次休暇または病気欠勤を利用しての休業となります。（通常の病気等の扱いと同様です）

6. 感染後の職場復帰の目安

退院基準を満たした場合に、法律に基づく就業制限も解除されますが、最終的な勤務再開日は専務もしくは常務が退院後の体調などを確認しながら決定します。

<退院基準>

感染の症状が見られた場合、次のいずれかを満たした後に退院となります。

- ・発症日後 10 日かつ症状軽快後 72 時間が経過（最短 10 日）
- ・症状軽快後 24 時間経過した後、24 時間以上間隔をあげ、2 回の PCR 検査で陰性を確認

感染の症状が見られなかった場合、次のいずれかを満たした後に退院となります。

- ・検体採取日から 10 日以上経過
- ・検体採取日から 6 日以上経過し、24 時間以上間隔をあげ、2 回の PCR 検査で陰性を確認

7. 濃厚接触者となった場合

- ① 直ちに専務もしくは常務に連絡するとともに、他者との接触を避けてください。自宅でわかった場合は出勤しないでください。
- ② 保健所へ連絡し、保健所からの指示事項を専務もしくは常務に伝えてください。
最終接触から、14 日間の自宅待機とします。
可能な場合、在宅勤務や他の職員等と接しない場所での勤務を行う場合もあります。
- ③ 体温測定を毎日実施し、体調とともに記録してください。

8. 濃厚接触者であることが疑われる場合

【仕事や日常生活で接した人に、感染もしくは濃厚接触者の疑いがある場合や、自分が行った場所で感染者や濃厚接触者が出たことがわかった場合など】

- ① 確認できた状況を整理し、直ちに専務もしくは常務に連絡してください。自宅でわかった場合は出勤しないでください。
- ② 接触状況等を踏まえて一定期間自宅待機とする場合があります。また、在宅勤務や他の職員等と接しない場所での勤務を行う場合もあります。
- ③ 体温測定を毎日実施し、体調とともに記録してください。

<補足事項>

状況によっては、直接濃厚接触者であることが疑われなくても、接触があったとして保健所が PCR 検査等を行う場合があります。その場合、原則として勤務の制限はしませんが、本人と相談した上で一定期間の自宅待機や在宅勤務、他の職員等と接しない場所での勤務などを行うこともできることとします。勤務に際しては、体調管理と感染防止策の徹底に留意してください。

9. その他

- ① 無症状の人が、感染の有無を確認する目的で、自らの意思に基づいて民間の検査機関等で PCR 検査を受ける場合があります。その結果、陽性と通知された場合は、速やかに検査機関等へ連絡し、指示に従ってください。直接医療機関を受診したり、不用意に他者と接触したりすることは絶対に避けてください。以降の対応は〔本人の場合〕4. を参照してください。
- ② 慢性的に風邪様症状があって、かかりつけ医等で治療を受けている職員等は、治療の状況を保健師にお知らせください。（喘息・アレルギー等）症状が改善しない場合は、専門医の診察を受けてください。

〔同居家族等の場合〕

1. 同居家族等に濃厚接触者の疑いがある場合

- ① 同居家族等に濃厚接触者の疑いがあることがわかった時点で、直ちに専務もしくは常務に連絡してください。
- ② 保健所の指導に従い、同居家族等の体調、体温を注意深く確認してください。また、接触を必要最小限にとどめてください。
- ③ 同居家族等が濃厚接触者であるかどうか確定するまで、一定期間自宅待機とする場合があります。また、在宅勤務や他の職員等と接しないような場所での勤務を設ける場合もあります。
- ④ 体温測定を毎日実施し、体調とともに記録してください。

2. 同居家族等が濃厚接触者になった場合

- ① 同居家族等が濃厚接触者であることがわかった時点で、直ちに専務もしくは常務に連絡し、保健所からの指示事項があれば伝えてください。
- ② 同居家族等の経過観察期間と同じ期間を自宅待機とします。また、当該同居家族等との接触を避けてください。
- ③ 同居家族等が保健所による PCR 検査等を受けて陰性だった場合は自宅待機を解除しますが、引き続き当該同居家族等との接触は避けてください。勤務再開に際しては、本人と相談した上で一定期間の自宅待機や在宅勤務、他の役職員と接しないような場所での勤務などを行うこともできることとします。
- ⑤ 体温測定を毎日実施し、体調とともに記録してください。

3. 同居家族等に感染を疑わせる症状が出た場合

- ① 同居家族等に発熱や咳などの風邪様症状、倦怠感、息苦しさ等が出たら、念のため専務もしくは常務にその旨を伝えてください。自宅でも感染防止策の徹底に留意してください。

- ② 同居家族等において解熱後 24 時間以上が経過し、咳などの呼吸器症状が改善するか、受診の結果、感染の疑いがないと判断された場合には、専務もしくは常務にその旨を伝えてください。

4. 同居家族等の感染が確定した場合

同居家族等の感染が確定した場合、その職員等は濃厚接触者になります。

〔本人の場合〕 7. を参照してください。

〔集団感染が発生した場合〕

会館内及び事務所内で集団感染（クラスター）が発生した場合は、保健所の指導に従って対応をします。

〔感染者の人権（個人情報）保護について〕

新型コロナウイルスはいつ誰が感染してもおかしくありません。言い換えれば、どれだけ感染予防を心がけても、感染を完全に防ぐことはできません。

感染者を個人攻撃するような言動は、厳に慎んでいただくようお願いします。（そうした事実が発覚した場合、就業規則等に則って厳正に対処します。）

また、感染者の個人情報が SNS 等に流出すると、過度な人権侵害を受ける可能性があります。事務所内の情報を第三者に流出させることのないよう、くれぐれも留意してください。

「濃厚接触者」とは、「患者（確定例）」の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者

- 患者（確定例）と同居あるいは長時間の接触（車内、航空機内等を含む）があった者
- 適切な感染防護無しに患者（確定例）を診察、看護若しくは介護していた者
- 患者（確定例）の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- その他：手で触れることの出来る距離（目安として 1 メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と 15 分以上の接触があった者（周辺の環境や接触の状況等個々の状況周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）。